

特集

WRカーの時代、 [1997-2006] 最初の10年

高度化した技術が
もたらす走り
新世代マシンたち

マシンギャラリー

スバル・インプレッサWRC 1998

トヨタ・カローラWRC 1999

訪いた栄光、まさかの凋落

新規定を牽引したスバル

時代に翻弄された名士

トミ・マキネン



短くも濃密なトヨタの2年間
呪縛に悩まされた三菱の誤算
新たな世紀の新王者ブジョー

新井敏弘の登場、そしてラリージャパン実現

The first decade of WRC cars



「トムスフォーミュラカレッジ」で
FIA-F4乗ってみた!

沼にハマって みませんか?

Text/Daiki Takakuwa(Racing on) Photos/Atsushi Makabe

フォーミュラカーを自分で運転する。そう聞くとハードルが高いというか、非現実的なことに思ってしまうかもしれない。しかし比較的手軽に、そして誰でもフォーミュラカーに乗れるイベントが定期開催されている。それが「トムスフォーミュラカレッジ」だ。

これは名門レーシングチームであるトムスが主宰するフォーミュラカー体験プログラムで、富士スピードウェイの駐車場に設けられた特設コースにおいてFIA・F4マシンをドライブできるというもの。今回はこのカレッジに特別参加する機会を頂戴し、ズブの素人である編集部員でも乗れるのか? 体験させていただいた。筆者が今回参加したのは「エクスペリエンス・コース」という入門コース。次のステップとして実践と講師からのレクチャーを受ける座学を繰り返してドライビングを究める「アドバンス・コース」も用意されている。

いざ、マシンに乗り込んで発進を試みる。お約束のエンストは1度喫したがなんとかスタートすると、誤解を恐れずに言えば意外なほど普通に走ることができてしまった。その後、自分なりに必死に攻めながらペースを上げていくとあっという間に走行は終了。最後に講師からのアドバイスを受け、改善点を教えてもらったのちに沸々と湧いてきたのは「もっと走りたい!」という思いだった。教えてもらったことを即実践してタイムを上げたい。それがうまくいかなかったこともあるはずだがまた試す。こうして終わりのないドライビング探求の深い沼にハマるのだらう。あなたもぜひ参加して、果てなき沼にハマってみては。まずは体験。

1 エクスベリエンシ・コースでは走行前にマシンの操作方法などについて説明を受け、その後コースインするとまずは先導車のうしろについて2周。その後、フリー走行となる。2 この日、エクスベリエンシ・コースの講師を務めたのは今年、トムスからスーパーフォーミュラ・ライツに出場している古谷悠河。走行中には無難で、走行後にはコース図を使いながら的確なアドバイスをしてくれる。3 メカニックたちが手厚くサポートしてくれるので安心して走行に臨める。4 走行後にはラップチャートとスキルによってゴールド、シルバー、ブロンズにランク分けされた修了証が授与される。筆者はシルバーをゲットして有頂天。



DOMÉ F110

括弧できるマシンは昨年までFIA-F4選手権で使われていたトムス製2.4直4NAエンジンを搭載する堂舎F110。古谷講師いわく実際にFIA-F4のシリーズを駆っていた実戦車と大きな仕様の違いはないとのこと。



今後の開催スケジュール

日程	コース
8月20日(火)	エクスベリエンシ・コース/アドバンス・コース
9月6日(金)	エクスベリエンシ・コース/アドバンス・コース
10月4日(金)	エクスベリエンシ・コース/アドバンス・コース

詳細、申し込みはこちら | tfc.tomsracing.co.jp/

アドバンス・コース講師 伊藤大輔が語る魅力



「ドライビングへの意識を変えてほしい」

「アドバンス・コースが始まってからはこのコースの講師をメインに務めています。このカレッジの魅力って走りながらアドバイスがもらえることだと思います。富士スピードウェイの本コースを走っても車載映像はあるし、データロガーもあるので教えることはできますが、ここはコースが一望できますからね。あとフォーミュラカーをこれだけ気軽に乗れる機会はないと思うので、物は試しで乗ってみてほしいです。リスクも少ない状況でやっているのですから楽しんでほしいですね。体験してみるとレースをしているドライバーがどれだけすごいことをしているかと肌で感じてもらえると思います。それで運転を楽しみながら意識も変わってもらえたら視野が広がって安全運転につながるという面もあるので、いろんな部分で役立ててほしいです」